



坂本旧ため池上流に リニア汚染残土処分場 3か所

汚染残土(要対策土)の市外からの持ち込みをやめて、ため池上流もダメ!!

JR 東海・中津川市の連名の回答(今年2月区長会あて)
「現在、中津川市内の発生土を坂本地区へ搬入する計画です。」

昨年9月、坂本区長会はリニア工事に関する要望を提出しました。その中で「市外からの搬入を行わない」ことを申し入れましたが、今回、連名の回答では、「現在」と限定しています。「将来は市外からの搬入がある」ことを認めるものです。将来、JR 東海が東濃他市で処分場が確保できなければ、唯一の自己用地のある坂本への搬入が行われることとなります。

シートで恒久処分場? 耐久性たったの15年!

中津川市の回答(昨年10月住民の会あて)
中部車両基地の造成計画については、今後開催される工事説明会でJR東海から説明があると聞いています。
JRは「自然由来の重金属等を溶出させないように適切な対応を講じる」と説明しており、周辺環境への影響はないものと考えますが、今回の趣旨はJR東海に申し伝えます

県内の発生残土は1280万m³とされていますが、その1/3、約400万立方メートルしか処分先が明らかになっていません。JR東海は、他の地域での処分場が確保できない状況から、当初計画にはない、自己用地である車両基地およびその周辺の土地に、残土を持ち込むよう計画の変更をしております。

ため池上流の車両基地北側に100万m³、車両基地内に50万m³の埋立を予定し、その中に3か所の要対策土の恒久処分場をつくらせています。遮水シートで覆うとしていますが、業界保証は15年、恒久性はありません。

中津川市以外では御嵩町が要対策土恒久処分場の候補に上がっていますが、過去に住民投票で産業廃棄物処分場計画に反対し、撤回させた経緯があり、地域の反対の声が強く、見通しは立っていません。

瑞浪市は、要対策土の市内処分を受け入れないとし、瑞浪市長は「各地の要対策土の坂本の中部総合車両基地での受け入れ最終処分に期待する」と議会に説明しています。中津川市は市民の安全を考え、リニア事業への盲信を排し、処分場は下流に人家、農地やため池のない、安全なところに変更させるべきではないでしょうか?

農業用ため池の 車両基地排水池化 反対 死のため池にするなんて!!

中津川市の回答(昨年10月住民の会あて)
中部車両基地からの排水について、旧ため池の補強耐震工事を行うにあたり、岐阜県とJR東海が協議した結果、中部車両基地の洪水調節機能も付加することで、辻原川の流加能力を超過しないように流出量を調節し、下流域の洪水被害の防止を図ることになったと聞いています。

岐阜県恵那農林事務所へ確認したところ、ため池の貯水容量をふやし、その大部分が車両基地の洪水調整池、排水池となっていることが判明しました。JR東海が半分以上を負担し、岐阜県と共同で施工したとのことでした。

ため池の上流の隣接地に3か所の要対策土の恒久処分場を設置し、さらに車両基地の排水を流入させることは、農業用ため池を汚染させ、放置すれば死のため池と化す恐れがあります。

ため池の機能喪失と用水汚染により、米どころとされる坂本北部の営農と地域住民への影響が懸念されます。

市は、ため池の管理者として営農用の施設を排水池とした責任が問われています。車両基地の工場排水の農業ため池への流入をやめ、農業施設としての水質を確保する検討をすべきです。

コロナ禍で、東京への資本と交通の集中はますます時代遅れ、リニア関連工事は一時中止を!



左手と正面に要対策土恒久処分場3か所計画



車両基地用に造られた貯水池の越流堰

会では資金カンパを募集中!
JA 東美濃 店番 6287-006
口座 051972 名義人 大山勝

リニアを考える坂本
住民の会 代表 大山勝
中津川市茄子川 448-81
TEL 0573 68-5428
2021/5 発行